柳　下　洋　一

まだまだ日中は暑い日がありますが、朝晩は、めっきり涼しくなり蝉の鳴き声から秋の虫の音色も聞こえる頃となりました。

１０月５日開催予定の運動会に向けての練習にも各クラスとも熱が入ってきました。子どもたちや観に来ていただいた保護者の方の思い出になるような運動会にしていきたいと思っております。

さて、今でこそ運動会は各学校や自治会などで開催されていますが、運動会とはそもそもいつ頃からあったのでしょうか？「運動会」という行事は、もともと日本では馴染みの薄いものであり、文明開化の時に西洋から持ち込まれたものようです。学校行事となったのは明治３０年代で、それまでは遠足の意味でも使われていました。

日本で初めて行われた運動会は、明治７年海軍兵学寮で行われたものだと言われています。この時のプログラムの中には現代の運動会の競技に通じるものがありましたが、この後運動会は軍事的性格を持ったものになっていき、団体訓練をする場として運動会は利用されるようになったのです。

その後、明治４０年頃にはプログラムも現代のものに近づき、地域のお祭り的要素の濃いものへと変わっていったようです。スタートは集団訓練を進めるためで、統率された日本人を育成するという時代背景もあったかと思いますが、地域を巻き込んでお祭りや遠足と一緒にしてしまうという発想は、この時代に生きた日本人のすばらしい創造力と遊び心ですね。